

26 中村川中流地域

1 地域の現況と課題

1. 地域の概要

地域の現況	位置図
<ul style="list-style-type: none"> 中村川中流域の森林と集落地で形成された地域である。 土地利用上地域の大半が山林・原野となっており、(県) 嬉野美杉線沿道など幹線道路沿道に集落地が形成されている。 里山や棚田の美しい風景が残されており、なめり湖周辺の野外レクリエーション拠点としての利用促進が求められる地域である。 小学校の統廃合によって学校跡地が有休化している。 	

基礎データ					土地利用現況				
		都市計画区域							
		市街化区域	調整区域	都市計画区域外	合計	種別	面積 (ha)	構成比 (%)	備考
地域面積 (ha)		—	—	3,313.9	3,313.9	宅地	47.6	1.4	
人口	H.12	—	—	1,642	1,642	非宅地	農地	38.2	1.2
	H.17	—	—	1,172	1,172		山林・原野	2,754.5	83.1
	H.17/H.7	—	—	0.714	0.714		その他	473.6	14.3
世帯数	H.12	—	—	539	539	小計	3,266.3	98.6	
	H.17	—	—	417	417	合計	3,313.9	100.0	
	H.17/H.7	—	—	0.774	0.774				
人口密度 (人/h)		—	—	0.4	0.4				

地区別会議における主な意見

- 高齢化、人口減少により農家の担い手がおらず、農地の荒廃が進んでいる。現状の土地利用を維持していきたいが、放棄された農地、森林の手入れに対する対策が必要である。
- 定住人口の増加が必要。住宅地の環境としては、良いところなので、放棄された農地を活用して、ゆとりある住宅地を形成できないか。
- 小野に抜ける市道沿いに工業団地を整備する予定があったが、地権者の反対により立ち消えになっている。地区の活性化を担うものとして、工業団地は整備してほしい。
- (県) 嬉野美杉線は地区の重要な幹線道路であるが、釜生田や矢下橋の周辺など、狭小な区間があり、拡幅整備などを進めてほしい。
- 小学校の跡地の活用策が必要。
- 中村川に堆積した土砂等の浚渫対策。
- 里山や棚田の景観の保全。自然風景、里山の景観は残していきたいが、人手が足りない。ボランティアが対応したりするが、将来どうなるかわからないので、定住者が必要。
- なめり湖、古田池などを活用して観光スポットにできないか。

2. 地域の課題

(1) 土地利用の課題

- ✓ 森林・農地を主体とした現状の土地利用の保全が求められている。
- ✓ 放棄された農地、森林の手入れや活用対策が必要である。

(2) 交通体系の課題

- ✓ (県) 嬉野美杉線は地区の重要な幹線道路であり、バイパス整備などを促進する必要がある。
- ✓ 嬉野市街地や松阪市街地と安全かつ円滑に連絡する道路の整備が求められている。

(3) 公園・緑地及び自然的環境の課題

- ✓ 本市北部の中山間地における野外レクリエーション拠点としてなめり湖や古田池の水辺公園の整備が求められている。

(4) 河川・海岸、下水道の課題

- ✓ 中村川は改修されているが、流下能力の維持・向上が求められている。
- ✓ 中村川の水質の改善に向けて、合併処理浄化槽の普及促進が求められている。

(5) 集落地整備の課題

- ✓ 集落地内には空き家が増えつつあり、継続的な管理に加えて、空家の活用が必要である。
- ✓ 地区の活性化、定住化の促進に向けて、工業団地等の整備が求められている。

(6) 安全・安心のまちづくりの課題

- ✓ なめり湖の北側の道路など台風時に冠水しやすい道路があり、地区の円滑な交通体系の確保や避難路の確保のために、対策が必要である。

(7) 景観形成の課題

- ✓ 里山や棚田の美しい風景が残されており、その保全が求められる。

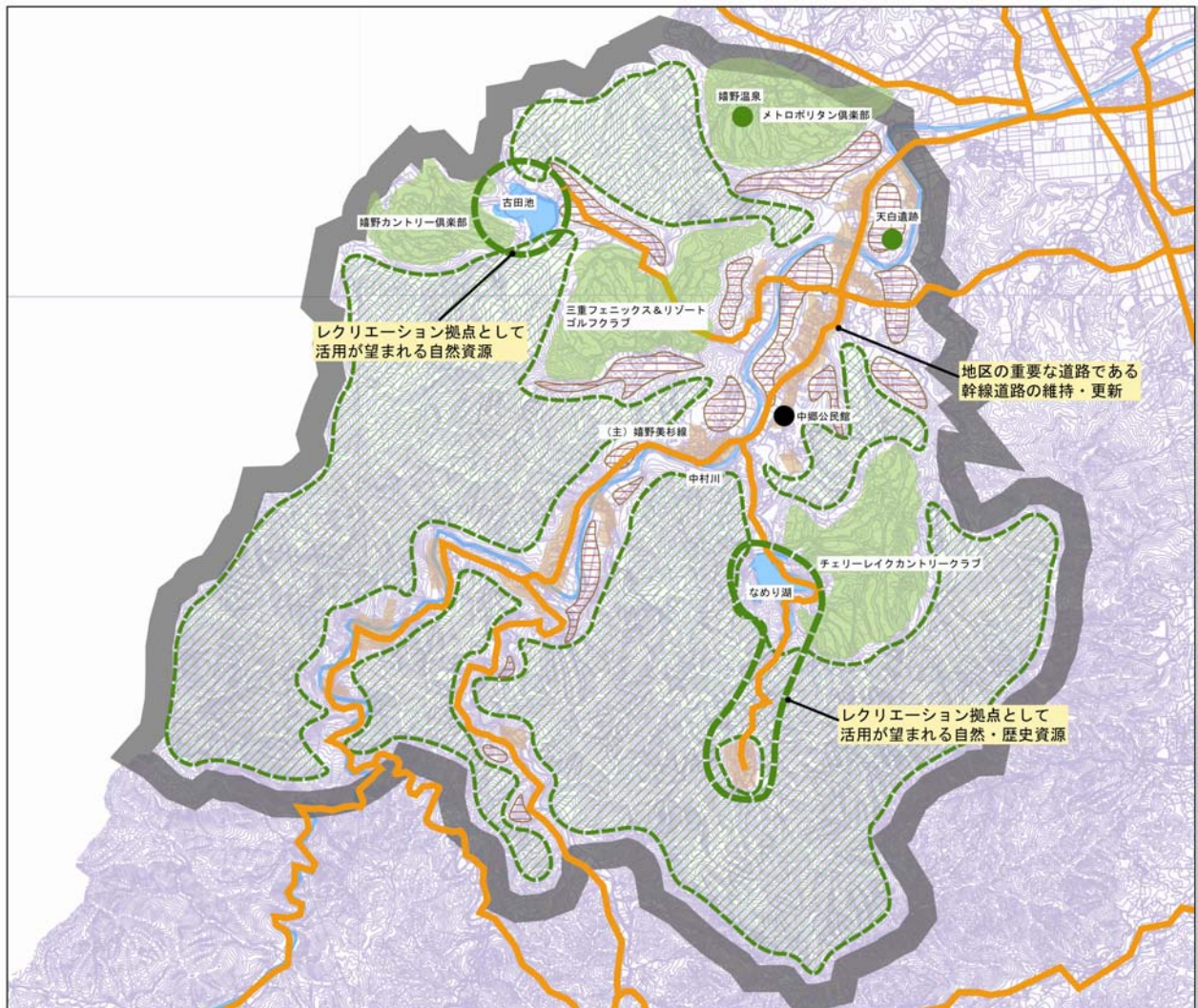
(8) 福祉のまちづくりの課題








- ✓ 小学校の統廃合による跡地の有効活用が求められている。

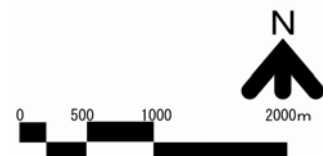
(9) 観光のまちづくりの課題

- ✓ 人口定住化等に向けて、なめり湖や古田池周辺の活用による観光振興等が求められている。

● 中村川中流地域 地域別整備課題図



-  集落地としての生活環境を高める必要性が高い地区
-  優良農地として整備・保全する必要性が高い地区
-  森林として保全する必要性が高い地区
-  主な道路
-  主な公園・レクリエーション施設
-  主な河川・水面
-  地区区分界



2 地域別構想

1. まちづくりの目標と主要な柱

集落環境、森林、農地の保全に努めるとともに、都市住民の憩いの場として、野外レクリエーション拠点などの形成を図り、これらの豊かな自然を保全・活用した、自然とのふれあいの里づくりをめざす。

○まちづくりの主要な柱

集落環境の保全
森林の保全
農地の保全
野外レクリエーション拠点の形成

2. まちづくりの基本方針

(1) 土地利用の方針

- 嬉野岩倉町、嬉野合ヶ野町、嬉野矢下町、嬉野宮野町、嬉野森本町、嬉野滝之川町、嬉野釜生田町などに「集落環境保全地区」を配置し、集落環境の維持増進に努める。
 - ✓ 集落地内に増えつつある空き家対策として、継続的な管理・活用を促進する。
- 地域の大半を占める森林は「森林保全地区」として配置する。
- 集落地周辺の農地は「農地等保全地区」として配置する。
 - ✓ 放棄された農地の一部については、ゆとりある住宅地の形成、産業の立地への活用など定住人口の増加策への活用を必要に応じて検討する。

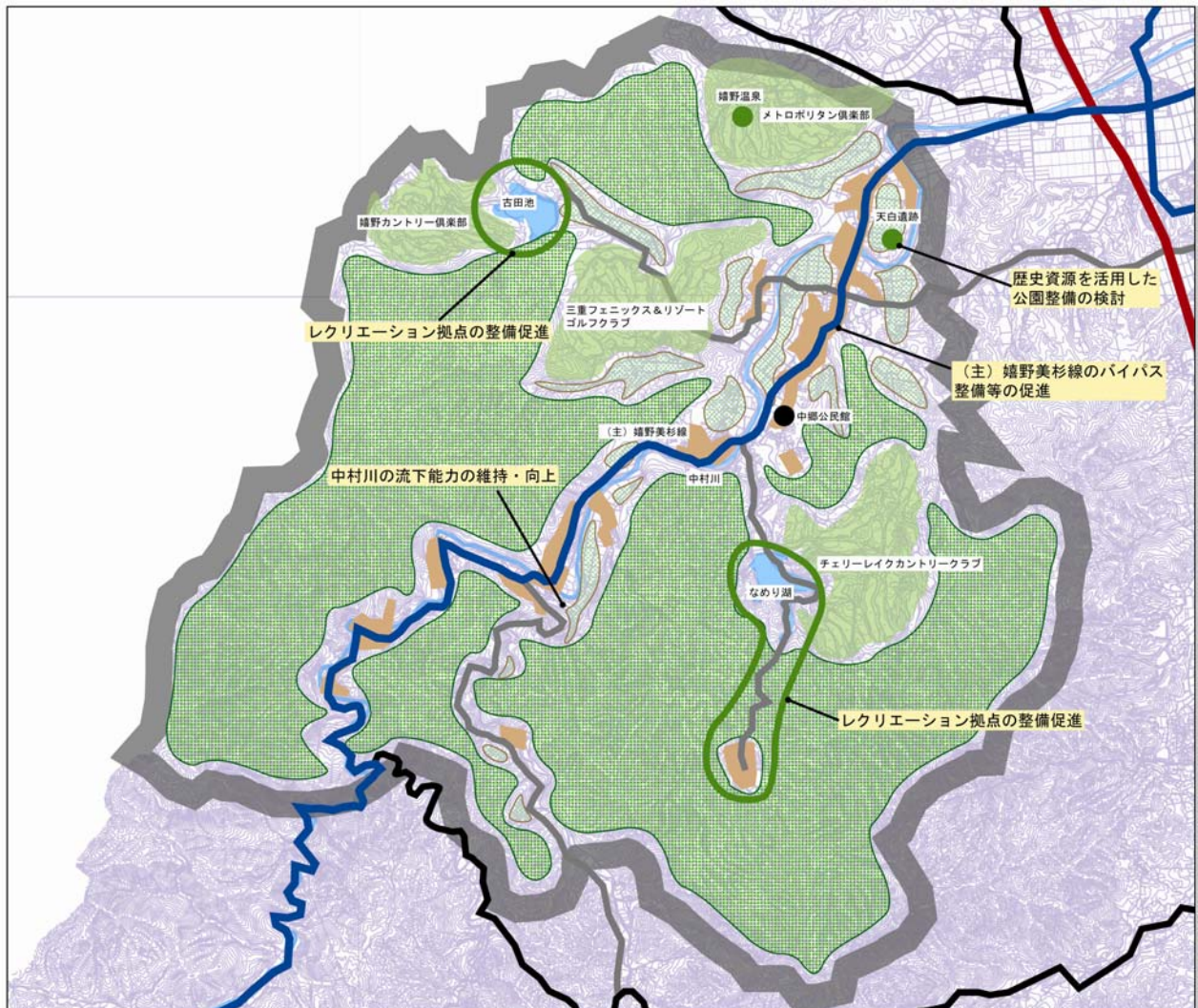
(2) 都市施設及び地区施設等の整備方針

- ✓ 地区の重要な道路である（県）嬉野美杉線のバイパス整備等を促進する。
- ✓ 本市北部の中山間地における野外レクリエーション拠点として、なめり湖の水辺公園整備を促進する。
- ✓ 中村川の流下能力の確保のため、河川整備など適切な対策を促進する。
- ✓ 中村川の水質の改善に向けて、合併処理浄化槽の普及促進に努める。
- ✓ 天白遺跡等の歴史資源を活用した公園整備を検討する。

(3) 地区環境等の保全に関する方針

- ✓ 円滑な交通体系や避難路の確保のために、道路の冠水対策を促進する。
- ✓ 里山や棚田の美しい風景の保全に向けて、担い手としての定住者の確保に努める。
- ✓ 統廃合により遊休化した小学校跡地の活用検討に努める。
- ✓ 人口定住化等に向けて、なめり湖や古田池周辺の活用した観光振興等に努める。
- ✓ 中村川の豊かな自然環境の保全を図る。

● 中村川中流地域 整備構想図



記号	凡 例	記号	土 地 利 用
	広域幹線道路		低層住宅地
	幹線道路		中低層住宅地
	補助幹線道路		一般住宅地
	主な生活道路		住商複合地
	鉄道・駅		近隣商業地
	主な公園・レクリエーション地区		商業地
	主要公共施設等		商工複合地
	主な河川・水面		住工複合地
	市街化区域界		工業地
	地区区分界		集落環境保全地区
			農地等保全地区
			森林保全地区

